



読字原田 親

No. 571

2009/4/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0035 東京都中央区本町四丁目10-10
西側ビル1-1 東17号2543室

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL: 0861272-3010
郵便番号11所
01250-04-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-0914
倉敷市港島中央1-8-1
(宮地方)
TEL: FAX: 0861416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



中国語講座講師・クラス委員との懇親会が開かれました。

4月4日の土曜日、午後6時から駅西口の中華料理「又来軒」で、半年振りに開かれた会です。出席者を発言順に紹介します。



ように勉強を始められたのがきっかけで、入門から中級へと進まれています。ご主人はもう6・7年も中国で仕事をしているのに、いまだにしゃべれないそうです。

南蓮さん、入門と初級の四つの講座を担当しています。留学生として日本で学び、帰国して大連で働いていたが、平成15年に岡山に戻ってきました。

竹内さん、中級のクラス委員です。始めたきっかけは、公民館にチラシが置いてあったからで、本当は韓国語をやりたいかったのですが、受講料が高くて、場所が遠かった。中国語は受講料が安くて近かったので始めたそうです。

まず事務局長の小林さん、ご挨拶でお孫さんと娘さんのことをうれしそうにお話になり、この夏フランスに行かれるそうです。次に竹内理事長、日中友好協会の理念について熱く語られました。時間前に他の会合で少しお酒が入っていたようです。

そして、私の次に稲葉理事、西日本活動者会議で感激されたことを語られました。

ウランさん、中級の講師です。日本に来られてから6年経つそうです、初めての参加です。山崎さん中級の受講生です。ご主人が中国へ赴任されたので、中国に行った時買いたい物が出る



す。また、中国の芸能界にも興味があるそうで、次の片山さんと話が合ったようです。

片山さん、初級の受講生です。韓流ドラマから今は台湾ドラマにはまっているようで、ワン・リーホン(王力宏)(アメリカ生まれの台湾スター)の大ファンだそうです。写真を持っていて見せていただきました。彼のインタビューを原語で理解したいからと、始められたそうです。

郭志華さん、初級の講師です。中国では天津の銀行で働いていましたが、日本へ留学を決めたと上司や同僚に話したところ、皆に猛反対されたそうです。よりよってどうして日本なのかということだったようです。しかし、彼女の大学院の研究テーマは、



日本の満州侵略ですから、日本の資料が必要ですね。今、新渡戸稲造の『武土道』を読んでいるそうです。

遅れて参加した飯森さん、中級の受講生です。台湾での仕事が多いようで、2カ月に一度1週間か10日ぐらいの割合で台湾に行かれるそうです。福祉関係の機器を輸入する会社だそ

うで、台湾のシマは世界一だそうです。例えば車いすなど。

中級の方が多く参加されたのは、私が各講座毎の収支を講師の先生方に送り、赤字の講座には独立採算でお願いするかもしれないと、説明したので、それを心配した受講生の方々が集まられたようです。ホームページでも紹介しているように、中級と上級のみ500円アップの月4000円の受講料で、今までどおりでということの説明して安心していただきました。

以上11名の参加で、大変盛り上がった懇親会でした。次回は9月の予定です。私の連絡不足で、南蓮さんの講座のクラス委員の参加が無く、申し訳ありませんでした。 真田

NHKテレビ「土曜ドラマ」

『遙かなる絆』放映

4月18日(土)から六回連続で『遙かなる絆』が放映される。このドラマは、城戸久枝さんが書いた『あの戦争から遠く離れて』のドラマ化である。演出は、『大地の子』で脚本を担当した岡崎栄さんで、昨年から中国のロケをおこなっており、「緑の大地」から「酷寒の大地」まで描かれる。『あの戦争から遠く離れて』は、久枝さんが中国残留孤児であった父の城戸幹(孫玉福)の人生をたどり続けた本である。城戸幹(孫玉福)は軍人の家族に生まれ、勃利に住んでいたが、ソ連参戦後ハルビン行きの列車の中でソ連機の機銃掃射にあい、三歳の城戸幹(孫玉福)は牡丹江のほとりにある小さな村へたどり着いた。そこが、頭道河子(トードフーズ)である。

私たちがこのドラマに対して深い思いを持つのは理由がある。2007年夏、城戸幹(孫玉福)が育った頭道河子から牡丹江市を訪ねたからだ。龍爪開拓団は、林口付近にあった。ソ連参戦後、一行は馬車と徒歩で南下した。そして、牡丹江を渡ったところが頭道河子で、多くの子どもたちが亡くなった。私たちは、ゆっくり流れる雄大な牡丹江の河原で戦後62年目の法要をおこない、花束を捧げた。この頭道河子の風景を見るだけでも一見の価値がある。

城戸幹(孫玉福)の人生や歴史は、旧満州にいた日本人なら紙一重で誰にでもあった話である。このドラマを通じて、戦争とは何か。日本人とは何かを問いかけるものがある。

本当に、多くの人に見てもらいたいドラマである。

青木康嘉



頭道河子の河原で左から小林、高見、織田

日本ベトナム友好協会
☆ベトナム語講座
日時：毎月第2・4木曜日午前中
場所：岡山市岡西公民館

サッカー

☆日本ベトナム友好親善

日時：4月26日(日) 10時
場所：日生中学校グラウンド
参加予定チーム：
・ベトナム青年チーム・県立古城池高校元部サッカー部OB・中学生(日生中、和氣中)混成チーム
「日越交流パーティー」
4月26日、サッカー大会終了後午後4時から、日越青年交流会。ベトナム女性の手作り料理にて。

内山完造のこと、良くわかった 倉敷支部の「内山完造の生地への旅」

内山完造没後五十周年にあたる今年、3月29日、日中友好協会倉敷支部では内山完造の生地井原市を訪ねました。会員十三人が参加し、内山完造のことが良くわかった」と好評でした。

十時半に井原駅に集合、井原市の観光バスでゆかりの地をめぐりました。まず小田川沿いの桜橋公園に没後二十周年を記念して建立された内山完造の「頌徳碑」を訪れ記念撮影を行いました。頌徳碑の左側には、内山完造と親交のあった郭沫若が完造逝去3周年に寄せた詩文碑も建立されていました。小田川堤の桜はまだ三分咲きでしたが、花見客が何人も訪れていました。午後からは、井原

市吉井歴史民俗資料館で内山完造の展示物や遺墨を見学、そのあと生家跡、生涯学習センター、をへて内山完造の、菩提寺吉井山成福寺を訪れました。成福寺の住職片岡良仁さんからお話を聴き、没後五十周年記念行事の取り組みを聞かせていただきました。

「内山完造没後五十周年記念事業」に参加を約束

井原市を訪れた日中友好協会倉敷支部の会員13人は、3月29日の午後3時吉井の成福寺で住職の片岡良仁さんから内山完造没後五十周年記念事業の取り組みを聞き、この

事業への参加を約束しました。片岡良仁住職は、井原先人顕彰会の幹事長として今回の記念事業の中心になって活躍されています。

片岡さんは、自分がなぜ内山完造の顕彰活動をするようになったか、その動機や内山完造との関わりなどを話され、完造の人柄、魅力をその生涯をふりかえりながら話されました。そして、日本と中国との関係は好き、嫌いで済まされる時代ではないと強調されました。没後五十周年の記念事業は、漫画「内山完造の生涯」に続く大きな事業で、5月17日には魯迅の一人息子 周海嬰さんを北京から迎えて講演会や文化行事を行うのでぜひ協力をしてほしいと言われました。

参加者は、みんなその行事への参加を約束してお別れしました。

栗本泰治



● (写真上)井原市の小田川沿い、桜橋公園にある内山完造の頌徳碑の前で
● (写真下)片岡良仁さんからお話を聴く倉敷支部の会員



4月6日、さいでん日本語教室は校外学習として、小鳥の森へ桜見物に出かけました。今回は、長岡教室の後藤君、また赤井さんの娘さんとお孫さんを含め計10人が参加しました。桜は満開で花びらが風に吹かれて散っている中で、各自が持参した中国料理をおいしくいただきました。

この日は穏やかで温かな気持ちのいい日でした。小鳥の森の中をゆつたりとした気分で散策し、楽しい一日を過ごしました。次回は5月頃に、和氣の藤棚に行こうと話しました。

小林軍治



次回の新聞発送作業は4月21日(火)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林 和
竹内 内
竹内 坪

さいでん日本語教室 校外学習で楽しくお花見

日中文化講座

日中友好の架け橋 内山完造先生没後50周年記念事業

内山完造・きみご夫妻

とき/平成21年5月17日(日)午後1時～
ところ/井原市芳井生涯学習センター
入場無料

記念事業セレモニー 午後1時

第1部 記念講演 午後1時30分～2時30分
「わが父魯迅と内山完造」周海嬰氏

第2部 日中文化サロン 午後2時50分～4時
日中芸能コラボレーション
二胡…DEN-SEN(田川) 琴…山路みほ

周海嬰氏

主催:内山完造先生没後50周年記念事業実行委員会
共催:先人顕彰会・井原 福山市日中友好協会

講演:いまの中国をどう見るか
— 映画、漫画を通して —
講師:石子順さん
(映画評論・漫画評論家・日本漫画家協会 参与・日本中国友好協会副会長)

日時【5月16日(土)】
午後2時～4時

会場【岡山県立図書館
(2階多目的ホール)】
参加費【500円(チケット有)】
主催【日中友好協会】
岡山支部・倉敷支部
実行【岡山県AALA連帯委員会】